

核物質防護に関する不適合情報

2026年2月2日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックをご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

1. 公表区分Ⅰ0件
2. 公表区分Ⅱ0件
3. 公表区分Ⅲ2件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	物品点検を担当する委託警備員から警備責任者に対し、物品点検を1件失念した旨の連絡があったことを確認した。 調査の結果、点検時に別の警報が発報したことで、当該警備員は点検を失念していたこと、また点検完了の伝達体制ができていないことが判明した。 対策として、検査書類のチェック項目を追加し、関係者へ周知した。 なお、搬入された物品は全て申請された物品であり、妨害破壊行為は確認されていない。	2025/3/6	
2	周辺防護区域からの退域車内点検で、警備員が未許可のスマートフォンを発見した。 調査の結果、持ち込み者は、入域する際に車内座席ポケットにスマートフォンがあることを失念しており、点検をした警備員は車内座席ポケットに収納されていることに気づけなかった。 対策として、当該社員へ注意喚起、一時的に車両入構を不許可とし、警備員へ再教育を実施した。 なお、スマートフォンは車内から持ち出しされておらず、撮影記録もなかった。	2025/7/12	

4. 公表区分その他7件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	侵入検知器の付属機器が、正常に動作しないことを確認した。 侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/7/5	
2	侵入検知器の機能の一部が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、ソフトウェアの不具合であったことから、プログラムを更新し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/3/14	
3	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/8/1	
4		2026/1/11	
5	除草作業中に侵入検知器機能の一部を損傷させたことから、当該箇所を交換し正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の障壁機能は、代替措置にて維持した。	2025/7/10	
6	原子力規制庁へ提出予定の核物質防護に関する測定結果書類に誤記を発見したため、修正を実施した。調査の結果、引用データの定義がされていないことが判明した。 対策として、書類作成時の引用手順の明確化とともに、関係者へ教育を実施した。	2025/8/1	
7	監視カメラの映像が、映らないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2025/12/31	